



後藤有佳(ごとう ゆか)さん
富山県立富山東高校出身
原子力技術応用工学科4年

この国の原子力の安全を、 この手でつくる。

現在、国内で3校しかない原子力・放射線を専門に学ぶ学科として、
原子力・放射線分野の安全を守る人材を輩出する
福井工業大学原子力技術応用工学科。
後藤有佳さん(富山県出身)は、4年間の集大成の日々をここで過ごさず。

「最初から原子力学に興味があったわけではないんです」と語る後藤さん。「高校の頃は宇宙について勉強したいと思っていました。先生に相談すると『宇宙は放射線がたくさん飛んでいるから放射線を勉強してみたら?』とアドバイスを頂いて。放射線関連の学科を進学先の候補にしてみました」

そして、高校2年生の春に起こった東京電力福島第1原子力発電所の事故。テレビの映像が何度も流れて、よく理解できない自分がいました。原発は危険っていつれど本当なのかな?何が一体危険で、何をどうしたら安全と言えるのか。事実を正しく知りたいたと思っただけです」

「原子力は、物理学や生物学、化学、電子制御、機械工学、ロボット工学など多くの工学が複合した『総合工学』。その応用の裾野は幅広く、身近な医療や農業から、工業、化学、宇宙の領域まで原子力の応用技術が使われているんですよ。あらゆる工学の組み合わせで原子力発電所が動いていることも、実は大学に入ってから初めて知りました」

シップで、現場型の原子力技術や安全対策を体験できるのも特長だ。
現在4年生の後藤さん。卒業後の進路を考えると大きな契機となったのが2年生の夏に行われたフィンランド研修。現地の原子力規制庁を見学した。「原発が推進されているフィンランドは、同時にその安全に対して、ものすごく整備されている国でした。その頃、日本でも原発を再稼働するか廃炉にするか議論が白熱していま

した。日本は原発に代替する有効なエネルギーをいまだ見つけられていません。だとしたら自分も安全を守るために何かをしたい。そう強く思っただけです」
以来、後藤さんは「原子力防災」の分野をより意欲的に学び始める。原子力発電所では事故を起こさないようにするの当然だが、万が一事故が起こった際に被害をどれだけ最小限に抑えられるかが重要だ。「原子力防災総合演習」の授業では

事故が起きた時の自治体の動きを自分たちでシミュレーションした。見えてきたのは、安全を守るために自らの持つ知識や技術を捧げて働く、日本の技術者の姿だった。「いざというとき、私もそうなるかどうか。問題発生時に取るべき正しい行動や答えは何か、自問自答し続ける。そんな技術者として、人としての倫理観も4年間でみっちり教わりました」
「現場の技術者として、この手でこの国の原子力の安全を生み出していきたい」。現在、就職活動中の後藤さん。夢の入り口はすぐそこにある。

富山県出身のOBに聞きました

「ものづくり」が
暮らしを豊かにする



株式会社 タアフ(立山科学グループ) 勤務 海老 成将さん 2015年 工学部卒

高校生のころから、ものづくりに携わって地元で貢献していきたいという思いがありました。「ものづくりを通して、社会や暮らしを豊かにすることに関わりたい」。そう考え、福井工業大学で、工業系・技術系の知識を幅広く学びました。そして、念願だった地元企業の株式会社タアフ(立山科学グループ)に就職できました。

株式会社タアフでは、さまざまな工作機械を駆使して、航空機や半導体関連機械に使用される金属部品を製造しています。その加工精度は1/100mmレベルです。そして、航空機や精密な機械に使用される部品だからこそ品質に対して高い保証が求められます。

私が任されているのは、航空機部品の加工です。お客様を乗せて大空にはばたく航空機に、私の作った部品が使われています。富山で作られた部品が世界に飛び立つ。まだ社会人になって2年目ですが、責任の重さとものづくりの楽しさを徐々に実感してきました。

加工の精度は、同じ機械・工具・プログラムを使っても、技術者の技量によって大きく変わってきます。今後は、金属や加工の特性を理解し、より精度の高い加工ができるように技術を磨き、工作機のプログラムも手掛けるようになることが目標です。地元企業で世界につながるものづくりをしながら、富山のものづくりを支える一員としても成長していきたいと思っています。



マニシングセンタを操作する海老さん

未来の自分が
見つかる場所!



OPEN CAMPUS 2016

開催日 9月11日(日)、10月8日(土)・9日(日) ※大学祭同時開催



- ◎学科説明
- ◎学科体験
- ◎保護者説明会
- ◎キャンパスツアー
- ◎進学・就職相談コーナー
- ◎入試相談コーナー

在学生の
プロジェクトメンバーが
ご案内します!



工学部
・電気電子工学科
・機械工学科
・建築土木工学科
・原子力技術応用工学科

環境情報学部
・環境・食品科学科
・経営情報学科
・デザイン学科

スポーツ健康科学部
・スポーツ健康科学科

■無料シャトルバス運行 ※ご利用の方はホームページからご予約下さい。

往路	発	着
富山駅(北口)	7:30	
高岡駅(南口)	8:30	
福井工業大学		10:30
復路	発	着
福井工業大学	14:30	
高岡駅(南口)	16:30	
富山駅(北口)	17:30	

[ホームページ] <http://www.fukui-ut.ac.jp/> 福井工業大学 検索



フィンランドでの研修の様子

定員30名に教員約10名という徹底した少人数教育で、原子力や放射線の基礎及び応用を教授する同学科。企業や役所など原子力の現場を経験した教授陣のもと、4年間で最先端の原子力技術をはじめ、資格取得、原子力倫理、コミュニケーション能力など技術者として必要な資質を育成する。さらには関西電力や日本原子力研究開発機構とのインターン